

2021年度 第5回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2021年8月18日（水）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第2委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時40分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	和田 晃典
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課長	木下 直樹
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2021年7月16日（金）開催 第4回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第9号 令和4年度使用教科用図書の採択について
- 議案第10号 令和3年度9月補正教育関係予算案に関する意見について
- 報告第18号 寄附物件の受納について

- 報告第19号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱の制定について

## 第5 教育委員会事務局の報告

### 1 教育総務課

- (1) 竹野地域小学校統合準備委員会等の進捗状況報告について

### 2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 2学期以降の学校園訪問について
- (3) 運動会、体育祭について
- (4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

### 3 こども育成課

- (1) 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に係る地区説明会等の開催状況について

## 第6 委員活動報告

## 第7 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午後1時30分

---

(教育長)

ただ今から、2021年度第5回教育委員会会議を開会します。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告します。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、佐伯委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

### 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。7月5日に開催しました臨時教育委員会会議及び7月16日に開催しました第4回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんか。

(委員)

なし

(嶋教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

### 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回7月16日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

#### 《教育長の報告概要》

8月2日に初任者研修を行った。私は初めて今年の初任者と顔を合わせた。今回はあいさつだけだったが、次回の2月には1つ授業を実施しようと思っている。研修の最後に、1学期が終わり、初任者がどのような精神状態で生活しているかのアンケートを行った。今年の初任者は、小中学校教員12人、養護教諭2人、事務職員4人、合計18人である。睡眠がきちんと取れているかと聞くと、ほとんどの初任者が取れていて、1人だけ「取れていない」と答えた。食欲については、2人が「食欲がない」と答えていた。それから、体調変化のあった初任者は4人であった。問題としては「相談できる人がいない」と答えた者が2人いたことである。トータルで見て、睡眠も取れておらず、食欲もなくて、体調の変化もあったという初任者が2人いたので、そのことを各校長に伝え、状況を説明し、しっかりとケアをしてもらったり、声掛けをしてもらったりすることをお願いしている。

また、ストレスに感じることは何かと聞くと、「業務量の多さが想像していた以上であるということ」、「子どもの対応について悩んでいるということ」が多く出された。そのようなことをストレスに感じることは取り立てて大きな課題であるとの認識はないが、若い人たちは1年、2年で精神を病んで離職するケースがこここのところ生じているので、このアンケートを見て、私たちもしっかり対応していきたいと考えている。

もう1つは、8月12日に豊岡高校「手づくり絵本を届けたいプロジェクト」絵本贈呈セレモニーに行ってきた。西保育園で読み聞かせをし、その後、絵本贈呈セレモニーを行った。豊岡高校の探求という授業の中で、2人の女子生徒が2年生のときに、絵本を作ろうと考えた。理由の1つにはスマホで子育てをする親が増えたと彼女たちが聞いていること、2つ目には、子どもの本離れが多いと聞いていることである。このため、自分たちが絵本を作って、それを届けようと考えた。100人の作家の絵本を読んで、どういう特徴をそこに盛り込めば子どもたちは喜んでくれるか、0・1・2歳にはどうか、3・4歳にはどうかということを調べたり、オノマトペのような擬音語を入れるのがよいのでは、ストーリーは単純なものがよいのでは、気を引くイラストがあったほうがよいのではなどを考えながら、ふるさと教育で実践している豊岡のいろいろなものが、かばんの中に入っているというストーリーを作った。「かばんの中に何があるかな」と問い掛け、温泉が入っていたり、スキー場が入っていたり、そばが入っていたりする。そのような、なかなか魅力的な本であった。

作るとなればお金が必要になるため、どうしたのかというと、市の大交流課に相談し、KDD

I（株）を紹介してもらい、“キャンプファイヤー”というクラウドファンディングを活用した。目標額は100万円だったが、それが4日間で集まり、最終的には約150万円も集まったため、追加で英語版の絵本も作った。英語版は中学生の教材としてすぐに使えそうなものである。

携わった生徒はみんな本当にしっかりしていた。最初は2人で始めたが、「私たちもプロジェクトに参加する」と次から次へと手が挙がり、10人になった。キャンプファイヤーのクラウドファンディングを活用し、「僕はイラストを担当する」、「私はアナウンスを担当する」などみんなが業務を分担して作成した。セレモニーの最後に、生徒は「高校生の行動が社会につながることを学んだ。」と言っていた。報道関係者から「あなたたちは高校3年生だから、大学受験の勉強をしなくちゃならないのでは」と言われると「受験勉強よりもっと貴重な体験をしました」と話していたことが素晴らしかった。そうした子どもに先生になってほしいという思いで「誰か先生になる人はいないか」と聞くと、1人いた。

小中学校でいう総合的な学習においても理想となる学習であった。この絵本は、すべての小中学校とすべての公立・私立の園に寄贈することになっている。

ご質問等ありませんでしょうか。

（向井委員）

初任者の件ですが、「相談できる人がいない」、「ストレスをたくさん感じている」という方たちは、遠くから来られている方ですか。それとも、地元の方ですか。

（教育長）

1人は地元の方で、もう1人は遠くから来られた方です。地元の方は大学を卒業してすぐに先生になっているので、少しプレッシャーがあったかもしれません。

（佐伯委員）

2人とも教職員ですか。

（教育長）

1人は事務職員で、もう1人は教職員です。

## 【日程 第4 議事】

（教育長）

日程第4 議事に移ります。議案第9号 令和4年度使用教科用図書の採択について、こども教育課長の説明をお願いします。

### ○ 議案第9号 令和4年度使用教科用図書の採択について

《こども教育課長の説明概要》

令和4年度使用教科用図書の採択について、資料に基づき説明する。

令和4年度に使用する教科書については、昨年度すでに使用することの承認を得ているが、今年度新たに、中学校の教科書会社から教科書が発行されたことに伴い、その教科について但馬教科用図書採択地区協議会から令和4年度使用教科用図書の選定結果の通知があった。その選定結

果については、資料のとおりである。これまでの教科用図書も含めて、生徒に指導していくのに適しているかという判断からの選定となっている。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

説明のありましたとおり、令和4年度使用教科用図書の採択について、承認してよろしいでしょうか。承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員)

全員挙手

(教育長)

全会一致で承認されました。

続きまして、議案第10号 令和3年度9月補正教育関係予算案に関する意見については、この後、議会に議案として、提出され、議決を諮るべき事項となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、非公開とします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

#### ○ 議案第10号 令和3年度9月補正教育関係予算案に関する意見について

##### 【非公開会議】

《 令和3年度9月補正教育関係予算案に関する意見について、教育総務課長、こども教育課長、こども育成課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。

続きまして、議事(報告)に移ります。報告第18号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

#### ○ 報告第18号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄付物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 2 件、個人 1 件、合計 3 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、報告第 19 号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱の制定について、こども教育課長の説明をお願いします。

○ 報告第19号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱の制定について

《こども教育課長の説明概要》

豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱の制定について、資料に基づき説明する。

国の生活支援特別給付金の支給対象から外れる低所得世帯に対して、市独自に給付金の支給を行うために要綱を策定した。対象は、主に市の就学援助をすでに受給している方や 2019 年の所得が就学援助費を受給している方と同水準であること、新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変し、1 年間の所得見込みが就学援助費を受給している方と同水準になる方であり、市独自で支給する。支給額については、1 人当たり 5 万円である。

(教育長)

ご質問等ありませんでしょうか。

(成田委員)

人数はどれくらいになりますか。

(こども教育課長)

見込みとしては、就学援助費受給者が現在 344 人であり、それに準ずるところで 638 人おり、合計 983 人を予定しています。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

## 【第5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第5 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 竹野地域小学校統合準備委員会等の進捗状況報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

### 1 教育総務課

#### (1) 竹野地域小学校統合準備委員会等の進捗状況報告について

《教育総務課長の説明概要》

竹野地域小学校統合準備委員会等の進捗状況報告について、資料に基づき説明する。

竹野地域小学校統合準備委員会の実施状況について、統合準備委員会を2回開催し、各部会を7月30日までに開催している。主な調整状況について、閉校記念行事は、中竹野小は修了式に近い日程を希望している状況であり、竹野南小は2022年3月27日を希望している。また、森本へき地保育園の閉園記念を兼ねた行事を希望している。通学方法は、中竹野小、竹野南小の全児童を対象にスクールバスを運行する。床瀬・三原から竹野小までの直行2ルートを検討する。登校1便は2台、下校3便は2台を予定している。制服・体操服・名札は、竹野小のものに統一し、その他の学用品は、現行のものを使用する。学校行事は、11月以降に3回、合同授業を計画している。児童の心のケアについては、児童へのアンケートを実施する予定である。教育目標、行事は、竹野小のものを基本に検討する。ふるさと教育は、竹野地域全体を知るというふるさと教育を進める。

合橋小学校と高橋小学校の統合に係る準備委員会の設置準備について、2023年4月を目標に統合し、準備委員会を2021年9月に設置する予定である。合橋認定こども園と高橋認定こども園の統合に向けた調整もあわせて行うことになる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

制服は3小学校まちまちなものを統一するということですか。新しく購入しないといけないようになるのですか。

(教育総務課長)

今までの統合と同じように、竹野小学校を卒業された方の不要になった制服などを募集し、他の小学校の子どもに使用できるような方法を取られると聞いています。

(飯田委員)

5年生であれば、あと1年間だけなのに新しい制服を買わなければならないことは負担になり

ますので、負担のかからないよう是非考えていただきたいです。

(佐伯委員)

合橋小と高橋小の統合に係る準備ですが、説明のありました流れは資母小の皆さんもご存知ですか。

(教育総務課長)

統合の要望書が出された時点で、但東全地域にお知らせしていますので、ご存知だと思います。

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

## 2 こども教育課

### (1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

不登校が大きな問題です。不登校の状況では、新規に不登校になった子どもが12人います。新規では昨年同時期と比べると、小学校でプラス2人、中学校でプラス4人、合計6人の増加です。新規の子どもたちの主な要因は、半分以上が無気力ということでした。友だち関係や学力ではなく、無気力が要因です。そのことから、どのようなことを私たちは想定しなければならないかといえば、新型コロナウイルスによって休みがあり、家庭での生活習慣がうまくいっていない子どもが出てきたということです。休むことに慣れてしまった子どももいるかもしれません。

今後の対応としては2つあります。1つ目は、家庭での生活習慣をどうするのかという家庭との連携です。2つ目は、学校に行かなくても家の中におれば、ゲームや楽しいことがあるので学校に行かないという選択をなくすため、「家ではできないことができる」「学校に行けば楽しいことがある」「〇〇さんがいるから行く」「〇〇さんとかこういう遊びがしたいから行く」など、学校に行く意味や価値を子どもたちが感じられるように工夫していくことが必要です。そうした考え方のもと、今後、不登校の対策等で、問題をどのように解決するのか考え、その方策を学校に提言していくための会を持ちたいと思います。

夏休み明けは、もっと不登校の子どもが増え、近年では一番多い不登校者数になる可能性が出てきます。新型コロナウイルスは子どもたちの生活に大きな影響を与えています。家でちゃんと見てもらえる子どもはよいが、お父さんやお母さんがコロナ禍で仕事が忙しく、子どものことは二の次になり、生活を何とかしなければならないという家庭もあるかもしれません。このことは豊岡市だけの問題ではありませんが、これから1～2カ月は特に学校はこのことに気持ちを傾けていかなければならないと思っています。このため、学校に行かないとできない自然学校や修学旅行、運動会については中止にせず、できる範囲で実施していきたいと思っています。



(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 2学期以降の学校園訪問について、こども教育課長の説明をお願いします。

## **(2) 2学期以降の学校園訪問について**

《こども教育課長の説明概要》

2学期以降の学校園訪問について、資料に基づき説明し、教育委員へ訪問を依頼する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

都合の悪い場合は委員同士で調整いただき、変更があれば事務局に連絡をお願いします。

続きまして、(3) 運動会・体育祭について、こども教育課長の説明をお願いします。

## **(3) 運動会、体育祭について**

《こども教育課長の説明概要》

運動会・体育祭について、資料に基づき説明する。

中学校の体育祭は9月11日を予定している。緊急事態宣言が9月12日までであり、宣言中の開催ではあるが、時間を短縮したり、種目を精選したり、不特定多数の入場を遠慮してもらうなど入場制限をしたりし実施するよう各学校に依頼している。

予定どおり実施したいと考えている。ただ、来賓については、いずれの学校も出席いただかない方向で検討している。

(教育長)

緊急事態宣言が発令され、県の対処方針が出されました。そちらとの整合性を説明してもらえますか。

(こども教育課長)

県の対処方針では、オープンスクールなどの学校行事を実施する場合は、感染症の対策をしっかり行ったうえで実施することになっています。例えば、「手洗い・消毒をする」「距離をあげる」「入場制限をする」などの対応をし、実施するよう通知がありました。今回、各小中学校で

行っていただく対策は、通知の内容を踏まえて実施していただけたらと考えておりますので、教育委員会としても実施の方向で進めたいと思っています。

(向井委員)

部活動も同じ対策をすれば実施することは可能なのでしょうか。また、対外試合などはどのように対応されるのですか。

(こども教育課長)

部活動については、対策を十分行ったうえで実施します。平日は2時間以内などの時間制限はありますが、十分対策を行ったうえで実施することになります。部活動の大会については、公式の大会や中学校体育連盟が行う大会など、県の公式な団体が行うものについては、その団体が取られる対策に準じて実施することになっています。上位大会の近畿大会や全国大会に行くことについては、宿泊等を伴う場合もありますので、教育委員会と協議をしたうえで参加するよう各学校へ通知しています。

(教育長)

その他ご質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

#### (4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級児童生徒数は実数7名、延べ27人となっている。毎日来ている生徒1人は、ふれあいルームの卒業生から高校の様子を聞くことによって、高校進学への意欲が増し、夏休み期間中も来所し、学習を頑張っていた。また、心理士等が行っている一般相談は不登校に関する相談において7人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談が6件、センターへの来所や園訪問による教育相談が87件、発達検査は21件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、虐待相談の実件数55件となっている。そのうち、通告があったものは4世帯10人であり、その中の3件は母から身体的虐待があり、学校・園・こども支援センターにおいて子育て相談をしながら、指導や助言を行った。ほか1件は、子どもが家に帰らないという相談により、父からの身体的虐待が発覚した。母に聞き取りを行ったところ、DVもあったことがわかり、母子相談員と共に支援し、安全確保のため分離をしている。今は市外に出て、生活を立て直している最中である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1)「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に係る地区説明会等の開催状況について、こども育成課長の説明をお願いします。

### 3 こども育成課

#### (1)「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に係る地区説明会等の開催状況について

《こども育成課長の説明概要》

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に係る地区説明会等の開催状況について、資料に基づき説明する。

全地域に向けては、7月1日から12日に市内6会場で開催した「小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会において、あり方計画について説明した。

また、2025年度までに施設の再編、統合等を予定している6地区においては、7月10日から7月21日にかけて地区説明会を開催した。参加者数は延べ123人であった。その他に、めぐみ幼稚園・ひかり幼稚園の保護者と、要望のあった花園地区に対しても説明会を開催した。

地区説明会では、再編・統合を前提とした通園対策や安全対策などの意見や要望等があったが、全体的には園児数の状況から再編・統合はやむを得ないという意見であったため、計画の前期の事業については関係地区の皆さんから概ねご理解いただいたものと考えている。今後は説明会でいただいた意見等の検討を進めながら、スケジュールどおりに計画を進めていきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

中筋地区の「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に係る地区説明会に行ったときに、「現在は保育園までおじいちゃんやおばあちゃんが歩いて送っていきけるが、統合することによって、近くではなくなるので送れない。保護者も勤めがあつて送れないという場合の対策はお願いできるのですか」という意見がありました。そうした場合の対策は考えていただけますか。

(こども育成課長)

説明会時は、通園の課題については持ち帰り検討すると回答させていただきました。どうしても通園が困難な場合はどのようなことができるか検討していきたいと思います。

(教育長)

その他ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

## 【日程 第6 委員活動報告】

(教育長)

日程第6 委員活動報告に移ります。

(飯田委員)

前回の定例委員会会議から今日まで、新型コロナウイルスやオリンピック観戦のため、あまり外に出ることはなかったのですが、中学校の陸上競技会に審判として参加させていただきました。炎天下での競技会であり、生徒たちはどのようなパフォーマンスをするのかなと思っていました。新型コロナウイルスにより、トレーニングができなかったという自己反省のもと、参加した選手でしたが、私から見れば一所懸命やっていました。次の大会があるのかどうかは別問題として、その時その時を精一杯やっている姿を見られたので、嬉しく思いました。

一方で、失敗して、本当に悔しくて残念といった子どももいましたが、その子どもを見た後に、オリンピックの100メートルリレーを見ました。普通、バトンリレーというのはスムーズにいくものだと思っていたのですが、まさかオリンピックでもバトン受け渡しの失敗が起きると思いませんでした。しかし、起きたことがどうこうというのではなく、その次にどのように気持ちを切り替えて、前に進むかということが大切だと思いました。陸上競技会と同じだなと思って見ていました。オリンピックの選手たちは、失敗しても次に向かっていくという気持ちが表れていましたし、コロナ禍の中でも、競技会での子どもたちも一所懸命やっていると感じました。

(向井委員)

小中学校の不登校の担当者向けの研修会に行かせていただきました。そのときに報告として、市こども支援センターの方が「昔は不登校といえば、そのことを学校としては隠すような風潮があったが、今はみんなで情報を共有していくものである。」とおっしゃっていました。不登校の子どもたちにこども支援センターに相談に来るように、また不登校の問題解決にあたっている先生たちを支援するためにも、こども支援センターに相談に来てくださいと呼び掛けておられました。とても素敵なことだと思いました。本当に不登校の問題解決にあたっている先生は大変であり、一人では抱えきれないと思います。学校では情報共有されているとは思いますが、こども支援センターにも相談し、共有されればよいと思いました。

前回の定例教育委員会会議で、教育長から小西杏奈選手についてお聞きしました。豊岡市の子どもたちにとって、とてもよい教育だとおっしゃっていましたが、本当にその通りだと思いました。実際にオリンピックをテレビで観ましたが、他の選手と比べると背が小さくて、並大抵の努力ではこの舞台に立てなかつただろうということを実感しました。また今度、パリのオリンピックを目指しておられると思いますが、この豊岡から、そのような素晴らしい選手が出たことに大きな拍手を送りたいと思いました。

それから、日高会場で開催された「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会のときに、八代地区の保護者が厳しい意見を言われましたが、先日、地域コミュニティの方とお話したときには「保護者の中にも違った意見を持っておられる方も結構おられます」とおっしゃっていました。

(佐伯委員)

新型コロナウイルスの感染者が毎日出ていますので、ちょっと心配な状況です。夏休みの行事や地蔵盆のお祭りなど、地区によっては、早々と中止を決定しているところがたくさんあり、子どもたちもがっかりしています。その中で、緊急事態宣言が8月20日から9月12日まで発令されるため、夏休みの登校日がなくなった学校もあり、運動会の実施もどうなるのかなと思いつつ、今日はちょっとドキドキしながら教育委員会会議に出席しました。

しかし、感染症対策をしっかり行ったうえで、縮小というかたちでも計画どおり開催されるとお聞きしました。いつもあるはずの行事をちゃんと開催していただけることは本当にありがたいですし、その時間は一生に一度しかないので、子どもたちに一つ一つの行事を経験させてあげたいと思います。これ以上感染が広がらないことを祈りたいと思います。

(成田委員)

6月下旬に小中一貫教育推進協議会に傍聴というかたちで参加し、勉強させてもらいました。聴いた後で、中学校区ごとに分科会が行われ、そちらにも参加させてもらいました。小中学校の先生が「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」と「非認知能力の育成」の共通の目標を持ち、それに向かって小中一貫の教育に取り組み、目標に向かって意見を出し合い、協議されていることに感銘を受けました。PTAの代表の方もPTAとしての意見を活発に述べておられる姿もとても素晴らしいと思いました。

1つ課題だなんて聞いていたことは、PTAの方が、小中一貫教育やふるさと教育についてのことが各単位PTAに伝わっていないのではないかと感じておられました。学校は一所懸命取り組んでいるが、取り組んでいることがPTAに通じているのだろうか。協議会で話しをされていた方々は、共通の課題として捉えられたと思いますので、また考えられると思います。一言で言えば、協議会での話し合いの様子がとてもすばらしかったという思いを持っています。

そして、不登校の担当者会も傍聴させていただきました。講師の先生は、豊岡南中学校出身で、さきほど向井委員の話に出ましたこども支援センターの方の教え子だったということを知り、すごいなあと思いました。まずは、「カウンセリング・マインド」の受容・共感の態度で、接する必要があります。そのことはカウンセリングで大事なことであり、「こうするんだ」「こうすればできるようになる」ということではなく、子ども自身の力で学校に行くよう仕向けていくのがカウンセリングであるということでした。先生は受容・共感が一番大事だということです。そして、信頼を作り、先生はあくまでも援助者となりながら、子どもを自己決定に導いていく、そういう流れが大事だと言われました。これは、不登校の問題だけでなく、すべての教育に通じることだと思いました。この話の内容は、担当者からすべての学校に広めてほしいと思いました。

それから、非認知能力の向上に対する研修会がオンラインで行われました。難しい話がいっぱい出てきました。私なりの見方かもしれませんが、次のように捉えました。子どもというのは、一人一人小さな夢の種を持っています。その種は、自分で芽を出して、自分で育っていこうとす

る力を持っているのではないだろうか。私たち教育に携わる者は、自ら育とうとする種に水をあげたり、少し栄養を与えたり、日陰を与えたりするような、補助する役ではないだろうか。学びに向かっていく力など、本来その夢の種の中にあるものに、上手に目を掛けることが私たちや先生の大事なことになるのではないかと思います。そのような自分なりの見方で、非認知能力向上の研修を捉えました。

## 【日程 第7 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第7 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

### 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第6回定例教育委員会会議は、9月27日(月)午後1時30分から、豊岡稽古堂3階交流室3-1で開催する。

### 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は、9月27日(月)午後1時30分から、豊岡稽古堂3階交流室3-1で開催します。

これをもちまして、第5回教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午後2時40分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2021年8月18日

教育長

委員